



伊藤ひろし県議会報告

発行／伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026 習志野市谷津2-1-15 電話047(779)3385

衛星系通信網の有効活用

災害時

県・市町村間の連絡交信の強化を

●防災対策
伊藤ひろし 近年千葉県でも地球温暖化により自然災害が発生している。災害時に被害を軽減し、県民の生命、身体及び財産を守るためには、県と市町村が連携を密にし、迅速かつ円滑な

市民の命を守る・共生社会の構築に力をそいでいる私、伊藤ひろし(習志野市選出・1期)は、6月県議会で登壇しました。防災対策や学校のバリアフリーの推進、県有施設の老朽化対策、道路交通の安全対策、部活動の地域移行などについて、熊谷知事ら県執行部に課題提起・改善要望をしました。

県防災用行政無線機能の有効活用を提案



令和4年6月定例県議会で一般質問を行う

強固な情報通信基盤構築を

が利用できない場合など衛星系通信網である地域衛星通信ネットワークを利用した防災行政無線を運用していると聞く。一方で市町村との情報通信基盤を、より強固で安定的なものとする

により通信の確実性を高めているところですが、今年度から進めている無線設備の更新の中で、通信速度の向上や映像の高画質化、悪天候時の安定した通信の確保など、層の機能強化を図ること

しています。今後も、防災行政無線を的確に運用するとともに、機器やシステムの更新を着実に進め、災害時の県・市町村間の情報通信の確保に取り組みでまいります。

ことは非常に重要であると考えております。再整備により、高画質な映像の送信が可能となりますので、市町村とその画像を共有して、迅速・的な災害対応に活かしてまいります。

再質問

伊藤ひろし 高画質化した映像を市町村と共有すべきと思うがどうか。

防災危機管理部長 災害対応を行う上で、現場の状況を映像により視覚的に把握できるという

要望

伊藤ひろし 防災行政無線の更新の際には、確実な情報通信手段としての機能強化を図るとともに、強化された機能を有効に活用するよう要望する。



登壇(令和4年6月9日)の録画中継をインターネットからご覧いただけます。

千葉県議会インターネット中継

検索

録画中継

議員から検索

伊藤寛

伊藤ひろし県議プロフィール

□ 略 歴 □

- 1975年 10月生まれ(47歳)
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選

□ 現 職 □

- 県議会 総務防災常任委員会副委員長
- 千葉県環境審議会
- 習志野市健康福祉センター運営協議会委員

□ 資 格 □

- 中学・高校教員免許、防災士

学校施設のバリアフリーの推進

障がい者

共生社会の構築を

●高等学校のバリアフリー環境
伊藤ひろし 令和3年4月に施行されたバリアフリー法の改正に伴い、公立小中学校についてはバリアフリー化の整備目標が定められた。高等学校はこの整備目標の対象外となっているが、私は全ての学校施設においてバリアフリー化がなされるのが重要だと考える。そこで何うが、県立高等学校におけるエレベーターの設置状況はどうか。また、設置を推進すべきと考えるがどうか。

教育次長 県教育委員会では、障がいのある生徒等も安心して学校生活を送ることができるよう環境づくりを進めているところです。県立高校のエレベーターについては、これまで、校舎の新築や改築時に併せて設置するとともに、車イスを使用するなど移動に配慮が必要な生徒等の状況に応じて設置してきたところであり、本年3月末現在、14校に設置しています。さらに、配慮が必要な生徒が在籍する3校で実施設計を行っているところであり、引き続き、学



車イス利用生徒の進路選択の拡充
エレベーター設置推進を

校の状況に応じた対応を図るとともに、今後は、長寿命化計画に基づく大規模改修工事の中で設置するなど、県立高校へのエレベーターの設置を進めてまいります。
要望 伊藤ひろし 当事者の気持ちに寄り添っていただき、進路の選択肢が狭められることがないよう、エレベーターの設置に主体的に、意欲的に、能動的に、積極的に、迅速に進めていただくよう要望する。

現地調査と議会報告会

汚水処理事業の広域化・共同化

習志野市内の汚水・雨水処理を(津田沼浄化センター・芝園)隣接している県有施設処理場(花見川第二週末処理場・芝園)で連携・統合処理に向けた推進要望を熊谷知事、宮本市長などと現地で協議しました。また、若手県議と共に、松野博一官房長官のご挨拶の下、県内の高速道路の渋滞対策を、国土交通省道路局に改善要望しました。



▲習志野市津田沼浄化センター



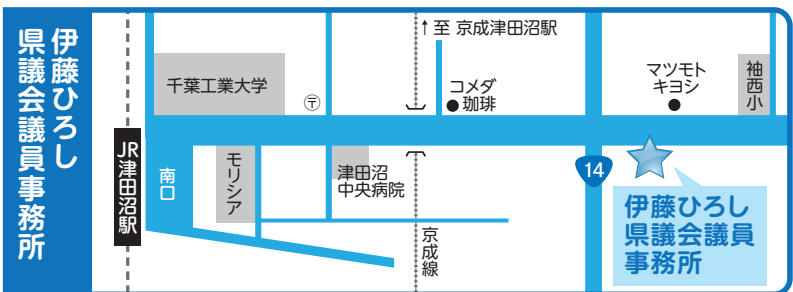
▲衆議院会館



▲原爆犠牲者慰霊平和式典(後援会女性の会で千羽鶴献納)



▲プラッツ習志野市民ホール



引き続き、“習志野 ずっと住みたい まち計画”をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛